



協 自 自
調 律 主

次代を担う若人

筑 西

久留米市立筑邦西中学校

学校だより 5-9号

令和5年 7月20日

文責 校長 古賀 一英

1学期 終業式において

約3年続いた新型コロナウイルスへの対応も緩和され、徐々にではありますが以前のような教育活動に戻ってきたところでしたが、6月末から7月にかけての大雨では、久留米市内でたいへん大きな被害がありました。今回の豪雨で被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。

さて、本校でも、2回の臨時休校を実施しましたが、市内の学校の中に現在も学校再開のめどさえ立てることができていない状況があります。

これまで、平成23年東日本大震災、平成24年・29年九州北部豪雨等、様々な困難が人間たちに襲いかかってきました。被災された方々は、途方に暮れて、先の見通しも立たず、生きていく事への絶望さえ感じたと思います。そして、その思いは、私自身の想像を遙かに超えている事とも思います。

しかし、そのたびに人間たちは、その困難を乗り越えようと、互いにつながり力を合わせて頑張ってきました。先日ニュースでは、被害が大きかった田主丸地区や大橋地区にたくさんのボランティアの方が集まってきている様子が報道されていました。被災された方も「不安な気持ちだが、少し晴れてきた」と涙ながらにお話しされていました。

今年も「夢への挑戦」を掲げ、「自分で考え、判断し、行動する力」を身につけることを伝えてきました。このような事態が起きている今、私達にできることを考え、何か行動していきたいものです。この機会に家族とも話してみてください。

大雨等の時の対応について

7月3日(月)の大雨対応については、リーバーメールの送信が遅れたこと等でたいへんご心配とご不安を与えることになってしまいお詫び申し上げます。

今後については、以下のことに心がけていきたいと考えていますので、保護者のご理解とご協力をお願いします。

- (1) 生徒の安全確保の観点から速やかな判断を心がける。
- (2) 6時30分までにはリーバーメールを送信する。
- (3) 本校ホームページにも掲載する。
- (4) 本校は、浸水害対応の避難所となっていることから、避難所開設時、原則生徒下校となっている。しかし、浸水害発生の場合は、生徒のみで下校することは危険と判断する可能性も高い。そのようなことから、生徒在校時は、天候や災害の状況に応じて、保護者への引き取り依頼をすることも想定している。その際には、混雑や混乱を避けるために、学年ごとに時間を設定する等の状況に応じた対応の必要性もあるため、リーバーメール等を活用しながら対応を周知する。

第2学年 救急救命にチャレンジ!

第2学年保健体育科の授業で、心肺蘇生法について学習をしました。

心肺蘇生トレーニング用の人形を使い心臓マッサージ方法の体験やAEDのデモ機の音声ガイドに従ってパッド装着の練習を行いました。

万が一の事故は、いつどこで発生するか予測困難です。その場にいた者が、救急救命の措置を取ることで命を助けることができます。この授業が役立つような事故は起きて欲しくありませんが、もしそのような状況に遭遇した場合は、命を助ける行動ができることを願っています。(本校には、保健室前にAEDが設置されています。)



心臓マッサージを練習

放送部 筑後地区放送コンテストで活躍

7月8日(土)に石橋文化ホール小ホールにおいて、筑後地区放送コンテストが実施され、放送部が出場しました。

朗読部門で団体2位、アナウンス部門で団体1位並びに御船莉子さんが個人賞2位、大石美緑さんが同3位という好成績を収めました。個人賞獲得の2名は、7月15日(土)に福岡県アナウンスコンテストに出場し健闘しました。



御船さんのアナウンスの様子

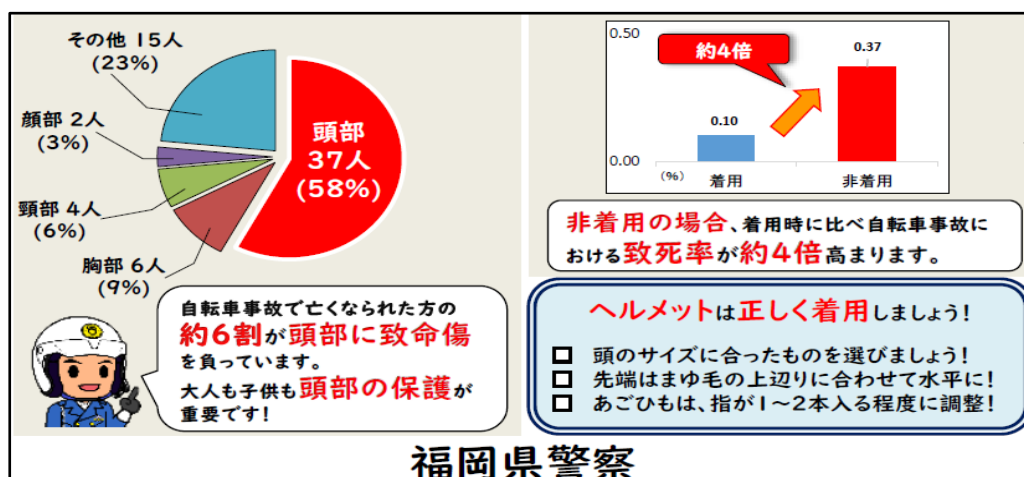
自転車ヘルメットの着用について

道路交通法が一部改正され、令和5年4月1日から、自転車利用者に乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されました。これは、下図にも書かれているように、頭部の保護が命を守ることにつながることから、これまでも本校からも様々な機会にチラシなどを配布しお知らせをしてきました。

現在、本校では、自転車通学者に対して、ヘルメットの着用と保険加入を義務付けています。

しかし、自転車通学者以外の生徒でも、部活動の練習試合の移動や職場体験などの行事においても自転車で移動することが考えられます。また、日常的にも自転車に乗る際に、着用している方も増えてきています。

自転車保険への加入はできていると思いますが、今後ヘルメットの準備についても各家庭で検討をお願いいたします。



福岡県警からののお知らせ(一部抜粋)